

町の考えを問う！ 一般質問に9人が登壇

9月定例議会では9人の議員が一般質問を行いました。
 その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。
 なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページ及び図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(11月下旬掲載)

▶伊奈町議会ホームページ <http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

ページ	質問議員	質問事項
11	齋藤照夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の農業振興について ● 町の産業振興について ● 住民参加の施策について
12	佐藤弘一	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学生のアルバイト就労について ● 交通渋滞対策について
12	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育について ● 待機児童解消について ● 自然エネルギーの活用推進について
13	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民討論会 ● 孤独死予防に孤立死予防を加える施策 ● 愛犬と共に快適なまちづくり ● 町民駅伝大会の発展と将来像
13	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 町長の選挙公約と来年度予算編成方針について ● 「ゆめくる」の充実を ● 聴覚障がい者対策を ● 原発災害の損害賠償を

ページ	質問議員	質問事項
14	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> ● 「安心安全なまちづくり」について ● 教育問題
14	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページのリニューアルに向けて ● 町村会による情報システム共同化と情報システム全般の運用のあり方 ● 健全化判断比率について考える ● 外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の改正の影響 ● 県有施設へのアクセス ● 宗教団体アレフの近隣市への進出の可能性 ● 児童クラブの充実と今後の体制整備 ● 上尾市との広域によるゴミ処理
15	中原敦子	<ul style="list-style-type: none"> ● 貧困の連鎖を防止する為に
15	毛塚真一	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境対策について ● 子育て・教育について

町の農業および産業について

年々農地が減少し遊休農地が増えている



さいとうてるお
齋藤照夫 議員

問 町全体の農地の面積および遊休農地の面積は

答 平成24年1月1日現在で、「田んぼが158万5千586㎡」、「畑が291万4千649㎡」で、「合計450万235㎡」である。その内、遊休農地の面積は13万6千89㎡となっている。

問 町が考えている都市近郊型市民農園とは。

答 町とJAで進めているレクリエーション農園も都市近郊型農園の一つと考えている。これからも遊休農地の解消と発生を防ぐため、レクリエーション農園の普及を図りたい。

▶伊奈町の特産品



問 町で推進する農業の集団化と近代化及び法人化施策とはなにか。

答 農業の後継者や担い手不足は深刻な問題となっている。町では「農業経営基盤強化促進法」に基づき、効率的で安定した農業経営のため、担い手となる農家に農地を集積・集団化することにより経営の安定と遊休農地の発生防止の効果を期待するものである。

問 伊奈町ブランドの研究・開発とはどのようなものか。

答 町商工会・観光協会JAあだち野などと協力しながら新商品の研究、開発を支援・推進したい。

問 町の収入拡大のための先端企業の誘致とはなにか。

答 町の税収の増加また雇用の創出などが期待できることから、県企業立地課の協力を得ながら技術開発系企業の誘致を図る。尚、用地については未定である。

中学生の就労アルバイトの把握 および指導について

町教育委員会として芸能活動
など特殊な状況を除いて認め
ない指導



さとうこういち
佐藤弘一 議員

問 中学生アルバイト就
労についてお伺いする。
この夏休み中に、足利市

立西中学校の生徒が、工
事現場でアルバイト中、
尊い命を失った。文科省



渋滞の羽貫駅前

の調べによると、3%あ
まりの生徒が、無許可で
雇用アルバイトをして
いると発表している。町

として把握の状況、今後
の指導についての考えは、
答 町立中学校において
現在就労の状況はないと
報告を受けており、今後
の指導は、原則として中
学生就労を芸能活動など
特殊な状況を除いて禁止
している。

問 県道上尾久喜線交通
渋滞と、羽貫駅交差点か
ら蓮田間の朝晩通勤時間
帯の渋滞対策について。

答 朝夕の時間帯には多
くの車両が通行するため
指摘の区間渋滞発生は認
識している。さまざまな
原因があり、今後の対策
として人・車両の安全確
保を最優先に、渋滞緩和
に向けた対応を道路管理
者である北本県土整備事
務所や上尾警察に要望し
ていく。

特別支援教育について

対象の児童生徒の実態を把握
し保護者の考えを尊重しなが
ら、慎重に進める必要がある



うえのこくや
上野克也 議員

問 特別支援学級増設の
現状と今後について。

答 設置している学校と
の関連及び校長の意見な
どを踏まえ、検討を進め
ている。

問 発達障害及び、その
可能性の高い児童生徒を
担任する先生方の情報の
共有及び伝達、また先生
方の理解度、学校での取
り組みについて。

答 個々の児童生徒の学
習及び健康の状態等を指
導要録に記入し、保存が
義務付けられている。特
別支援学級では、各教科、
行動面、身体面について
詳細に記述することにな

うえのこくや
上野克也 議員

っている。また、一人ひ
とりの支援計画を作成し
継続的に活用している。

4月当初には新旧担任教
諭及び関係者の連絡会を
開催し計画的、継続的に
行っている。

問 保育所持機児童解消
推進について。

答 私立認可保育園を1
カ所整備することを、公
募選定方式で8月に募集
要項を配布。年内に事業
者決定、平成27年4月に
開園のスケジュールを考
えている。

自然エネルギーの活用推
進について

問 記念公園に自然エネ
ルギーを活用した太陽光
発電の導入は。

答 今後、公園内の建築
物等を新たに整備する際
に設置を検討するなど、
自然エネルギーの活用推
進に努めていきたい。



町制施行記念公園

ごく少数愛犬家の低モラルを解消し快適なまちづくりをすべきだ

飼い主や地域の協力得て
マナーの向上を図っていく



むらやまさひろ
村山正弘 議員

愛犬と共に快適なまちづくり

愛犬家のモラル
問 町内の愛犬家のほとんどが犬の糞を持ち帰っ

ている。

誰もが不快に感じる糞の不処理を社会が許さない風土をつくるべきだ。

答 町内全域に回覧、集



マナーを守っています

合注射の際の糞処理啓発の他に「広報いな」犬のフンの持ち帰りを掲載し解消に取り組み。

飼い主が特定できる場合は、保健所からの直接指導も行っている。

孤独死予防と孤立死予防
高齢者世帯の異状を早期に発見する施策

問 孤独死の予防は難しいと思うが、異状を早期に発見する為の施策は何か。

答 一人暮らしの高齢者が増加している。孤独死は社会問題化している。

町では、民生委員・警察・郵便・(株)ヤマト運輸などのネットワークをつくり、地区の区長や関係機関の協力を得て生活弱者の支援を進めている。

町民駅伝大会の発展と将来像

コース拡大をただしまた。

町民討議会
討議会の継続をただしまた。

児童館の整備拡充は新設も計画に入れるべきだ

子育て支援の一環として新設も含め今後検討していく



みずかみくにお
水上邦雄 議員

選挙公約の実現を

問 健康増進・食育推進計画の策定状況は。

答 来年度策定に向け、10月後半にアンケートを予定している。

問 先端企業誘致手順は。

答 県立地課と協議し技術開発系先端企業の誘致斡旋をお願いしている。

問 丸山駅に障がい者優先の駐車場を。

答 有益と考えるが、町借り上げ提供は困難だ。

問 記念公園遊具復旧を。
答 今年度に予定している。
問 サイクリングの町周



ゆめくるの駐車場予定地

置する。

「ゆめくる」の充実に

問 駐車場対策を。

答 施設内遊水地の多目的化を検討している。

問 体育室の暑さ対策を。

答 空調機器設置は難しい。扇風機・冷風機の利用方法を検討していく。

聴覚障がい者対策を

問 磁気ループの設置を。

答 施設改修等、現時点での設置は難しい。

問 補聴器購入に補助を。
答 軽・中度の難聴児の助成導入を検討している。

子ども達の尊厳を踏みにじるいじめ
教職員の力をいかした対応を

「するを許さず、されるを責めず」を基本姿勢に、
保護者や子どもとの信頼関係を確立、
全教職員が一致協力して組織的に取り組む



うえのなのおり
上野尚徳 議員

問 災害時の助け合い、
観光や産業振興のため、
他市町村との友好協定を。
答 友好協定締結には、
災害時の相互援助を視野
にいれるべき。他自治体
との各種の交流は町の活
性化にもつながると認識

問 安心して子育てでき
る環境づくりのため、小
児救急医療体制の充実を。
答 小児初期救急の時間
外対応は、地区医師会在
宅当番医の協力により、



上水場の管理システム

月曜から土曜までの20時
から22時まで輪番で対応
して頂いている。小児2
次救急には、週2日の空
白日がある。県は圏域毎
に365日体制にするとして
いる。県や関係市と共に
推進していきたい。

問 重要なライフライン
の1つ「水道水」安心安
全に利用できるためには、
答 町内6ヶ所の公園等
の水栓にて50項目を年間
4回検査。その他、項目
毎に検査を実施（放射線
等）。ほぼ40年を経過し
た水道事業。安心安全な
水を供給するべく更新工
事等を含めた維持管理を
し、効率的な経営をして
いく。

その他、4項目につい
て質しました。

児童クラブの充実を

午後7時まで利用可能にする



おおさわ
大沢 淳 議員

町ホームページの
リニューアル
をグーグルマップを活用
しての案内等を検討して
いる。

問 SNSによる情報発
信は。
答 ツイッターやフェイ
スブックなど利用できる。
その活用の要否、情報発
信内容等を検討する。



フェイスブックを活用した
自治体ホームページ

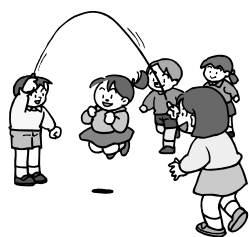
宗教団体アレフの進出

問 現状と町の姿勢は。
答 蓮田市よりアレフか
ら「蓮田市に拠点を移す
予定はない」との連絡が
あった。今後、進出の噂
があった場合は断固たる
姿勢で阻止するよう対応
したい。

児童クラブの充実

問 私立保育園の保育時
間との整合性は。
答 1月より7時まで利
用可能とした。7時以降
は当面現状のままでも対応
したい。

問 非営利民間事業者の
参入。
答 指定管理者制度等、
どっという手法が可能か今
後、研究してまいりたい。



貧困の連鎖を防止するために、教育センターと福祉課が連携することは可能か

教育センターと福祉課との連携は考えていない



なかほらあつこ
中原敦子 議員

不登校生徒と生活保護家庭について

問 日本はいま、生活保護200万人時代に入ろうとしている。そこで問題に

なっているのが「貧困の連鎖」の問題である。保護世帯で育った子ども4人に1人が、大人になって再び生活保護を受け取るという報告がある。



これからの活躍が期待される教育センター

この「貧困の連鎖」を防止するためには、保護世帯の子どもの高校進学率を上げることが重要になるが、不登校生徒も少なからずいるのが現状である。町の生活保護受給者家庭の子ども（中学生）で、不登校生徒はいるか。

答 どのご家庭が生活保護受給家庭であるのか把握していないので、不登校生徒の確認はできない。

教育センターについて

問 大学生のボランティアが勉強を教えてくれる教育センターは、「貧困の連鎖」を防止するために伊奈町独自の支援ができる場所ではないかと考えるが、夏休みに不登校生徒と、本当に勉強がわからず、困っている生徒の利用はあったか。

答 なかなか教室に入ることが難しい生徒や、学校での学習内容の定着が不十分と思われる児童生徒の参加もあった。

消費電力測定器の貸し出しを

家庭内での節電意識が高まることを期待できるので、県の貸し出しを活用する



けづかしんいち
毛塚眞一 議員

環境対策について

問 教育施設・公共のエアコン等等に、ミストシャワーの設置は。

答 設置の事例がある。効果の検証や費用対効果を考慮しながら、研究に

努めたい。

問 節電には、消費電力を知ることが重要なポイントである。消費電力測定器の貸し出しについて。

答 消費電力測定器は、家電製品の電気使用量をリアルタイムに確認でき



消費電力測定器

ることで、家庭内での節電意識が高まることを期待できる。県では貸し出し数量に十分余裕がある。広報等で活用を努めたい。

子育て・教育について

問 子どもたちの日常生活の中での事故を防ぐため、子どもの視点に立って配慮された「キッズデザイン」について。

答 町立保育所での物品の購入等において「キッズデザインマーク」の商品にも十分考慮に努めたい。子どもに関する情報を社会で共有し、子どもにとって良い社会づくりを継続的に行うことが重要である。

問 子どもたちのものづくりや発明について。

答 授業で身に付けた知識や技能を生かし、日常生活のなかで役に立つ作品の制作を夏季休業中の課題としており、産業教育振興会主催の「発明創意くふう展」に出品している。